

試験報告書

ガイア光触媒加工マスク素材の抗ウイルス試験

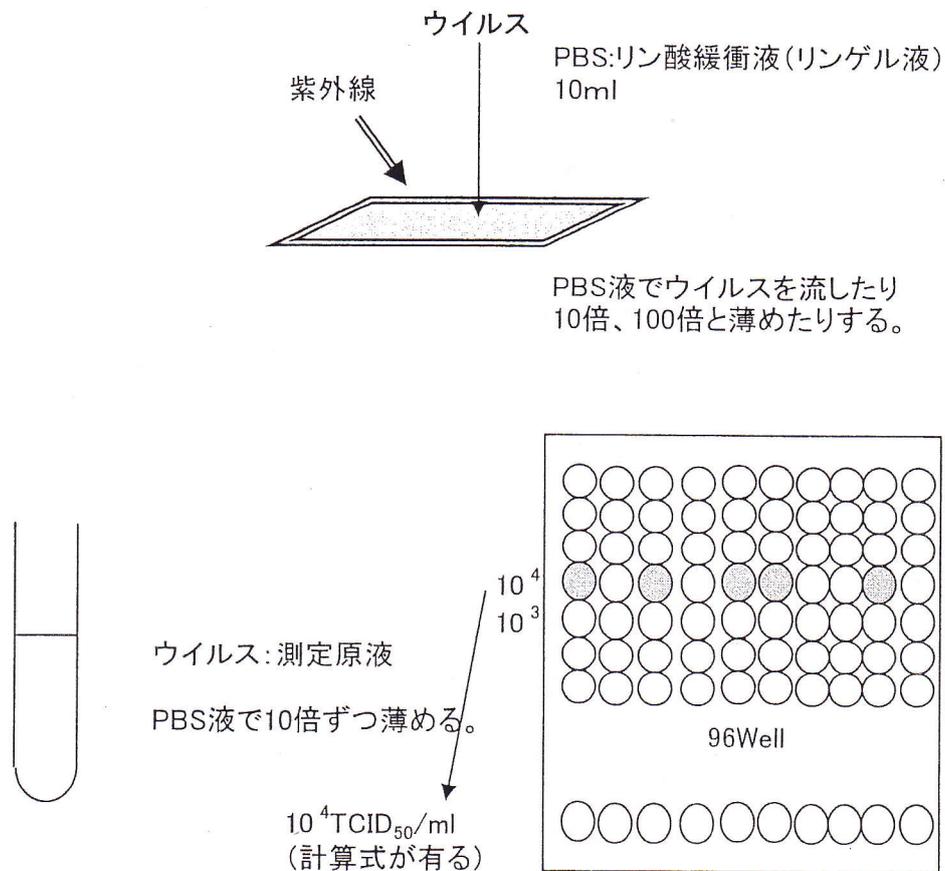
北環発 21_0023 号
平成 21 年 6 月 25 日

神奈川県相模原市北里1丁目15番1号
財団法人 北里環境科学センター
理事長 伊藤 俊洋

試験内容を公表する場合は、事前に当センターの承諾が必要です。
また、本報告書記載の試験結果は供試品に対するものであり
荷口（ロット）全体の品質を証明するものではありません。

ウイルス感染価試験方法の説明

1 試験方法: イメージ図



2 感染価の減少について

- ・今回の試験で8時間後の試験結果では感染価 4.7×10^5 と比較すると8時間後の感染価 5.05×10^2 は試験開始時を0とすると $10^{-2.97} = 1.07/1000$ になります。つまり、0.107%に減少した事になり、減少率は99.89%です。
- ・言い換えると今回の試験では8時間で99.89%のウイルスが不活化した事になります。
- ・不活化とは殺菌に相当する言葉です。以前は殺ウイルスと言った事も有るとの事。

3 パッケージの記載に関して

- ・北里側ではグラフや表はそのまま載せてもらいたいとの事。
- ・グラフは指数を使用してもOK。波線で0基準から詰めても良いとの事。

以上